

今号の主な内容

- 【特集】国際交流事業・第11回ふれあい交流子ども使節団**
「日韓交流の旅」韓国派遣団員募集！ 1
- ゆふいん財団掲示板**
平成23年度 収支決算報告 3
- ゆふいん財団掲示板**
市民実践活動への助成・顕彰事業を募集します！ 4
新しいスタッフが加わりました！

[発行日] 2012年6月6日
 [発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団
 [発行人] 溝口薫平
 [編集責任者] 霜野圭一
 [編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所/湯布院町川上2863
 TEL/85-4748 FAX/85-4759
 E-mail : info@yufuin-zaidan.jp
 H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

【特集】国際交流事業・第11回 ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団

「日韓交流の旅」韓国派遣団員募集！

【 応募方法 】

参加資格

湯布院地域内在住の心身ともに健康な
小学校6年生～中学校3年生まで

応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入してください。応募用紙については、各学校から配布しております。追加で応募用紙が必要な方は財団事務局までご連絡下さい。

自己PRとして自分が今一番自信を持っていること、もしくは国際交流に参加したい理由などを書いてください。また、文章を書くより絵を描く方が好きな人！好きな絵を別紙、画用紙等に描いてご応募ください。

後日、選考委員による面接が行われます。
 (面接選考により、12名を決定します)

応募締切：6月22日(金)

【 参加費用 】

個人負担額：15,000円

- ※パスポート申請費用等は個人負担となります。ご了承ください。(年齢により6,000円、11,000円かかります)
- ※交通費・宿泊費・食事代など基本的な費用の約8割を財団が負担します。

<問い合わせ先・申し込み先>

公益財団法人 人材育成ゆふいん財団
 TEL : 85-4748 FAX : 85-4759
 (応募はFAXも可)

ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団とは、アジアの海外へ足を運び、現地学生との交流や異文化にふれあう事業です。今年韓国・水原市に決定いたしました。水原市では、今年の2月に湯布院を訪れた水原市青少年育成財団の子ども達と交流を深めていきます。

初めての海外、初めての飛行機、学年・国の違うお友達、初めて食べる韓国料理…。いつもと違う環境の中で、新たな自分を発見しましょう！ご応募、お待ちしております！



第10回使節団 韓国・ソウル 楊津中学校での交流会記念写真
第11回 ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団の今後の予定

- 6月22日(金) 締め切り
- 6月30日(土) 面接日
- 7月3日(火) 合否連絡
- 7月7日(土) 保護者説明会、第1回勉強会
- 7月中旬、下旬(夏休み期間) 第2・3・4回勉強会を開催

1日目(8月3日予定)

韓国の文化に触れ学ぶ1日

・世界遺産朝鮮王朝時代の正宮「景福宮」、伝統工芸店の並ぶ人気の「仁寺洞」など、様々な観光スポットを見学。
 (水原市青少年育成財団との調整で移動日になる可能性があります)

2日目(8月4日予定)

韓国・水原市での心の交流を体験する1日

・水原市青少年育成財団との交流、水原市の各所を見学。

3日目(8月5日予定)

韓国を楽しみ、振り返る1日

・韓国地元の台所「南大門市場」や免税店で買い物体験。

第10回使節団プレイバック ～新しい自分を知る・見つけるチャンス～



キョンボクグン
世界遺産の景福宮を訪問



ロッテワールドで記念撮影



インサドン
仁寺洞で班に分かれて買い物体験



ヤンジン
楊津中学校を訪れ自己紹介・まち紹介



ヤンジン
楊津中学校の生徒と一緒に昼食交流会



中心街での地下鉄の乗車体験



第10回使節団リーダー 門田 志織さん
(当時/湯布院中学校3年)

日韓交流の旅を通して

8月1日から2泊3日で日韓交流の旅に行きました。私にとって初めての海外旅行でしたし、普通ならなかなかできない現地の方との交流もあり、行く前からとても楽しみでした。

1日目は最初に景福宮に行き、守門將交代式を見ました。ドラマで見たような光景でした。また、服装や楽器の音を聞いていると、「韓国だなあ」と感じました。その後には、王様が過ごしていた建物や、ハングル文字が作られた建物を見ました。ガイドさんにもたくさん韓国の話をしてもらい、韓国の歴史を身近に感じることができました。仁寺洞を散策したり、南大門市場で買い物をしました。店員さんはとても日本語が上手くて、とても面白かったです。夕食には韓国の宮廷料理を食べました。どれも初めて食べる物ばかりでした。とてもおいしかったです。

2日目は地下鉄に乗りました。とてもハイテクで驚きました。そして、楊津中学校へ行き、同級生の子たちと交流しました。韓国語で自己紹介したり、湯布院を紹介したりしました。韓国の人には日本語を話すことができる人や日本の文化に興味を持っている人がいて、嬉しかったです。そして何より、すごくすごく英語が上手くてびっくりしました。日本人の中学3年生とは全く違うなあと感じました。それにとっても積極的でたくさん話しかけてくれました。昼食を一緒に食べたり、写真をたくさ

ん撮ったりして、仲良くなれました!!アドレスも交換できて嬉しかったです。もっと話したかったなあと思いました。中学校の校舎は、特別教室が二つずつあり、視覚室や個人練習室、学食、シャワールームやジムみたいな部屋まであって本当にすごかったです。

お昼からはロッテワールドに行って遊びました。とても人が多かったけどとても楽しかったです。夕食の冷麺とプルコギは本当においしかったので、たくさん食べました!!

3日目は北村韓屋村に行って実際の住居を見ました。韓国の人には一般的にはマンションに住んでいて、家を持っている人はすごくお金持ちだと聞きました。どの家も韓国の家という感じがしました。

新羅免税店ではたくさん買い物をしました。ソウルタワーからは韓国の景色が一望できました。使節団の訪韓記念の南京錠をかけてきたので、将来、再び見に行きたいです!!それからお昼ご飯を食べて、またたくさん買い物をしました。たくさんのお店があって、とても楽しかったです。

私はこの3日間でたくさんのお話を聞いて、たくさんのお話を聞きました。また、日本とは真逆の考え方や、進んだ教育にとっても刺激を受けました。これから、もっともっといろんなことを学びたいです。そして、日本の良さをたくさんの人に伝えていけたらいいと思います。とても充実した三日間でした。本当に、本当に、ありがとうございました。



事業収支決算の取りまとめが行われました。平成23年度は緊急雇用創出事業「重点分野雇用創造プラン」の受託に伴い、総額17,213,204円規模の事業を実施してきました。事業関連収入や管理費等による事業収益が増加したため、財産の取り崩し額を減少させることができ

ました。今後も財産の運用や事業推進を工夫し、事業内容を充実させて「賛助会木綿の会」の方々やご寄付をいただいた方々の賛同が得られるような取り組みに精進していきたいと思っております。質問・ご要望等がございましたら、財団事務局までお問い合わせください。

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

科目	予算額	決算額	備考	
1 事業活動収支の部				
1) 事業活動収入				
①基本財産運用益	365,500	365,500	H22年度預託金の利息収入	
②賛助会・会費収入	800,000	65,000	団体会員3口、個人会員35口	
③事業収益	1,660,000	3,235,952	H22・23年度広告支援、緊急雇用創出事業収益、管理費等による増収	
④受取補助金等	697,550	680,230	大分県・地域の環境保全活動支援事業、由布市・YUFU交流推進事業	
⑤受取負担金	180,000	445,600		
国際交流事業	180,000	414,600	参加費¥15,000×12名、水原交流負担金	
ふれあい学習事業	0	23,000	河川環境学習会参加費¥500円×46名	
インターン、各種研修・視察等受け入れ負担金	0	8,000	由布市観光協会受入	
⑥受取寄附金	500,000	0	事業収益増のため平成23年度一般寄附金受取分¥326,000を積立。来年度以降に充当予定	
一般寄附金	500,000	0		
⑦雑収益	2,000	7,845	受取利息、お心遣い	
事業活動収入計 (A)	4,205,050	4,800,127		
2) 事業活動支出				
①事業費支出				
会議費	600,000	633,426	国際交流事業関連交流費、20周年記念など	
旅費交通費	442,000	280,586	H23年度顕彰事業旅費¥182,916を含む	
通信運搬費	400,000	291,077		
消耗品費	190,000	405,179		
修繕費	0	83,070	H24年度へ向けた花の木事務所修繕費	
印刷製本費	850,000	803,540	財団ニュース、助成事業・印刷費への助成	
光熱水料費	0	1,805	灯油購入	
賃借費	200,000	201,770	事務局家賃・交流室使用料	
保険料	0	1,000	田植え体験	
諸謝金	65,000	460,000	面接官、講師、水原交流対応、税理士謝金等	
租税公課	0	1,600	収入印紙代	
支払助成金	3,300,000	0	旅費、印刷費、諸謝金、委託費など直接経費として支出	
支払寄附金	0	1,000	震災義援金・花の木通り商店街	
委託費	1,300,000	1,962,680	交流使節団・水原交流の旅行管理業務委託、顕彰事業の録音作業委託費	
雑費	60,000	31,670		
②管理費支出				
役員報酬	0	0		
給料手当	2,500,000	2,500,000	事務局	
臨時雇賃金	200,000	353,450	事務局残業費	
福利厚生費	390,000	392,555	社会保険3月、10月支払い増	
事業活動支出計 (B)	10,497,000	8,404,408		
2. 基金振替の部				
基金振替収入	特別寄附金振替	9,000,000	3,300,000	理事会による議決事項
当期収支差額	(A-B)	△6,291,950	△3,604,281	
前期繰越収支差額	(C)	1,671,319	1,671,319	
繰越収支差額	(A-B+C)	△4,620,631	△1,932,962	繰越収支差額に対して特別寄附金を振替

平成24年度 市民実践活動への助成・顕彰事業を募集します！

1. 市民実践活動への助成事業

助成金交付の
上限額と用途

- ・年間の一団体あたり、助成額：30万円を上限額とします。
- ・年間の助成額総額を30万円とします。
- ・支出科目の直接経費に対して、助成金の交付を行います。

(1) 人づくり部門

- ・次の世代へ向けて個性ある、有能な人材を輩出する環境を創出するために、湯布院地域での活動の活性化を図り、ひいてはゆふいん財団の目指す人材育成に寄与する取り組みに対して助成金を交付します。

【対象】

- ・ゆふいん財団の目指す人材育成に寄与する取り組みを行う団体・グループ・個人に限ります。

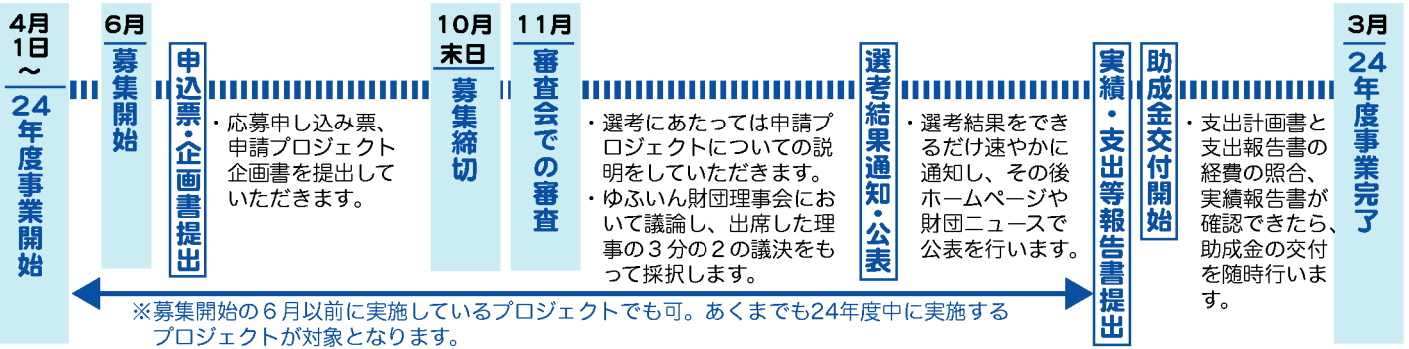
(2) 文化活動部門

- ・湯布院地域で行う文化活動について未来に残そうとする取り組みに対して助成金を交付します。

【対象】

- ・湯布院地域で文化活動を行う団体・グループ・個人に限ります。

～募集／申請から助成金交付までの流れ～

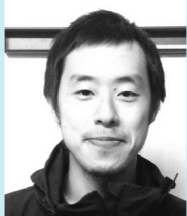


2. 市民実践活動への顕彰事業

- ・人づくり部門、文化活動部門において、湯布院地域で大きな実績と功績を残した団体・個人を顕彰します。
- ・自薦、他薦を問わず、推薦者2名により推薦された団体・グループ・個人に対して、ゆふいん財団理事会において議論します。

新しいスタッフが加わりました！／平成24年度 緊急雇用里山広葉樹有効活用促進事業（くぬぎの学校）

<商品開発・技術研修員>



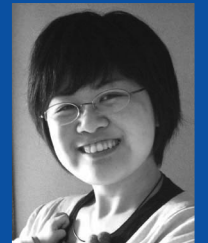
豊田 豪史
(27歳)

大分県出身（大分市皆春）
現在、湯布院在住
趣味：アウトドア、登山
特技：体を動かすこと

はじめまして。私の出身地は大分市ですが、木工の基礎を学ぶため、4月まで木工業が盛んな静岡県清水市に住んでいました。その時にゆふいんの木工クラフト、工芸品についての話を聞く機会があり、その美しさや素晴らしさに強く心を打たれ、今日このようなご縁を頂きました。

小さな頃から美しいと思っていたこの「ゆふいん」という土地で、木工製作に取り組めることに、やる気と喜びを感じています。そして、ゆふいんのまちづくりにも積極的に取り組み、この1年間を一生懸命にがんばります。よろしくお願ひします。

<商品開発・販売促進員>



神野 紗也
(25歳)

大分県出身
湯布院育ち塚原在住
趣味：読書、ひとり旅
特技：イラストを描くこと

はじめまして。この度くぬぎの学校の販売促進員として、ショップ「space ここの」を担当させて頂けることになりました。これまで培ってきたショップの販売員としての経験や、ものづくりの作家さんに囲まれて育ってきた環境を十分に活かしながら、販売の拠点としてのショップ作りと向き合っていきたいと思ひます。ものづくり、空間づくり、人との接し方…どれも未熟で学ぶべき課題が山積みですが、身近にいてくれる皆さんと一緒に良い空間を作り、空間と共に私自身も成長していけるように在りたいです。よろしくお願ひいたします。

編集後記

韓国・水原市青少年育成財団の湯布院訪問、その他にも様々なリポートがあったのですが、本号での掲載が間に合わず、お詫び申し上げます。そうした中、国際交流事業の募集が始まりました。ぜひ、周囲の子ども達に「新しい自分を知る、見つけるチャンス」の口コミをよろしくお願ひします。（事務局・大澤）

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します



みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>